

「言語聴覚士のための

会話による高次脳機能障害の評価とアプローチ—CBA を用いて—」 in 名古屋

認知関連行動アセスメント（CBA）を評価するために、会話がとても重要です。

会話は「感情」と「記憶」に直接働きかけ、「病識」を向上させることができます。

CBA の視点を身につけ、会話による高次脳機能障害の評価とアプローチを学びます。

実施のりハ動画・音声を用いて、ST 臨床を考えます。

日時：平成 30 年 10 月 14 日（日）10:00～16:00

場所：鵜飼リハビリテーション病院（地下鉄中村区役所駅徒歩 1 分）

講師：森田秋子（鵜飼リハビリテーション病院）、他

対象：言語聴覚士、CBA を使用したことのある人

定員：30 名

参加費：5000 円

内容：①CBA の理解

②会話から CBA を評価する

③会話を用いて高次脳機能障害にアプローチする